

緊急決定！

2021年1月22日の核兵器禁止条約発効を受けて撮影された 特別映像が日本で初公開！ 『ヒロシマへの誓い サーロー節子とともに』

核廃絶を訴え続けノーベル平和賞を授与された日本人女性の
半世紀にわたる知られざる原点と軌跡を探るドキュメンタリー

核禁止条約締結を先導した日本人被爆女性の平和活動を追うドキュメンタリー映画の日本公開を前に、核禁条約発効の日を改めて撮影した追加映像が完成し日本での上映が決定した。

オリジナル本編は2019年に完成し、2020年クリーブランド国際映画祭でワールドプレミアされたが、コロナ禍で本国劇場公開は見送られた。その後、2021年1月22日核禁止条約が発効され、ICANにとって大きな前進となった。

そしてこの核禁条約が発効されたその日の映像をスーザン・ストリックラー監督が撮影、4月17日（土）の日本公開に向けて、急遽1分45秒の映像を追加編集した。映像は、ニューヨーク深夜の国連ビルにサーロー節子の顔、続いて「2021年1月22日、核兵器は常に非人道的、今日から違法」という文言が英語と日本語で投影されるシーンからスタート。オーストラリア、ドイツ、エチオピア、ネパール、ベルギー、カナダ、ニューヨーク、広島など核禁条約発効を願ってきた世界中の人々が歓喜する姿、「最終目標である核廃絶まで条約批准国は増え続ける！」という節子の力強い言葉をバックに核禁条約に署名した86か国名が羅列されて終わる。

その86か国に日本は含まれてないという事実が余韻として残ると同時に、核廃絶というゴールへ向けて世界はいままさに「終わりの始まり」というスタートラインに立った！というリアルタイム感が、1分45秒のなかに凝縮された映像となっている。

被爆者と被爆二世、二人の女性の人生を重ね合わせる重層構成が訴えかけるもの

サーロー節子は広島女学院生徒だった13歳で被爆し、300数名ものの学友を瞬時に亡くした。後にカナダ人と結婚、トロントに移住し国連や国政会議で被爆者としての体験を世界中の人々に語り伝え続け、条約の推進に貢献してきた。

映画は節子の力強い生きざまを追うとともに、本作のプロデューサーである被爆二世でニューヨーク在住の竹内 道が、節子と出会い自身の真実を見つける旅が並行して描かれる。偶然にも広島女学院の卒業生であった二人の距離が縮まり、節子に励まされて、道は自分の家族の被爆の歴史に目を向け始め、広島赤十字病院初代院長時に被爆した祖父や入市被爆した母の語らなかつた体験を少しずつ発見していく。被爆二世としての自身を見つめなおしていく道の姿を節子の活動と並行して描いていく構成により、原爆も核廃絶問題も、世代を超え年代を超え国籍を超え、我々が過去もこれからもかわっていくべきだと観るものに訴えかけてくる。

クライマックスはノーベル平和賞授賞式での力強いスピーチ

撮影は、原爆投下から70年経った2015年、ニューヨーク国連本部におけるNPT(核不拡散条約)会議の会場から開始された。その後、広島、トロント、オスロと、節子の活動の場を追ってカメラは世界を駆け巡る。そして、2017年12月、遂にICANがノーベル平和賞を受賞。凍るように寒いオスロでの授賞式には、ICANの一人として、そして何十万の被爆者の声を代表して受賞スピーチを行い一語一語力強く訴えかける節子の姿があった。竹内 道と共同プロデューサーも出かける監督ストリッカーは、アメリカのネットワーク・テレビにて、ドラマのプロデューサー、そして、監督を長年つとめアメリカ監督賞(DGA) また、デイトタイム・エミー賞を受賞している。

「命を守る」その切実な願いを日々の暮らしで実感している今だからこそ

映画内で節子が語る被爆体験は、リアルで凄惨を極める。日本人の我々でさえ改めて原爆の恐ろしさ、非人道性に恐怖と怒りを新たにすが、核兵器を政治的均衡、国際間パワーゲームの道具として認識している多くの欧米人の心を動かしたのは、こうした節子の悲しくも生々しい言葉だったのだ。

なぜ、被爆者サーロー節子(旧姓中村)と被爆2世竹内 道はともに

広島からそれぞれトロント、ニューヨークへ行かなければならなかったか?

唯一の被爆国である日本に生まれた日本人として、我々は何を知り、何を知らないのか?

そして何をなすべきか?

あらためて突きつけられるさまざまな問い。

まさに「今こそ観なければならない」ドキュメンタリー映画であるといえるだろう。

『ヒロシマへの誓い サーロー節子とともに』は

4月17日(土)より東京ユーロスペース他、

横浜、川崎、大阪、京都、神戸、名古屋、広島、福岡、札幌など全国主要都市で公開が決定している。

■2019年アメリカ映画/原題: The Vow from Hiroshima./82分/配給: 3DAP Japan

◆公式サイト <https://www.hiroshimaenochikai.com/>

<宣伝問い合わせ> pub@hiroshimaenochikai.com

4月17日(土)

ユーロスペースにてロードショー 順次全国公開